

# 決 済 動 向

— 平成 6 年 4 月 —

(平成 6 年 6 月 13 日)

## 1. 日本銀行における決済関連計数

4月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.1万件（前年比△0.4%）、金額ベースでは338.0兆円（前年比+4.9%）となった（6年1月17日の内國為替制度改正以前のベースで試算した金額の前年比は+9.5%）。金額の内訳をみると、当座預金振替等は314.4兆円（前年比+10.2%）、民間の集中決済制度にかかる資金決済は16.4兆円（前年比△45.2%）となった（従来のベースで試算した民間の集中決済制度にかかる資金決済は前年比+4.3%）。

4月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで3.3万件（前年比+19.0%）、金額ベースで86.7兆円（前年比△2.5%）となった。

また、日本銀行における振決国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで4.1万件（前年比+27.4%）、金額ベースで200.4兆円（前年比△7.7%）となった。

この間、4月11日、国債資金同時受渡システム（国債DVPシステム）が稼働開始し、登録国債の移転登録のうち0.3万件、8.6兆円、振決国債の口座振替のうち0.5万件、20.4兆円が新システムを利用して取引された（各取引

に占めるDVP取引の割合は10~15%程度。なお、この割合は5月には3割前後となっている）。

4月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで172.2万件（前年比+6.9%）、金額ベースで6.2兆円（前年比△4.7%）となった。

4月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高6.6兆円（前年比△1.6%）、支払高8.0兆円（前年比△4.0%）となった。

## 2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、4月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは41.4万枚（前年比△12.7%）、金額ベースでは10.2兆円（前年比△10.1%）となった。

4月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは344.6万件（前年比+4.6%）、金額ベースでは8.1兆円（前年比+5.4%）となった。

4月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは2.7万件（前年比+2.2%）、金額ベースでは25.6兆円（前年比+12.6%）とともに前年を上回った。

### 3. その他

4月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は17.2万契約（前年比+99.0%）、月末の建玉数量は130.9万契約（前年比2.3倍）と引き続き前年を上回った。

4月のSWIFT総送信件数（本邦分、月中合計）は、169.5万件（前年比+2.1%）となった。

（信用機構局）